



国土交通省道路局長 様

岐南第 342 号  
平成19年5月8日

岐南町長 片桐 博彰



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号において提出依頼  
のありました標記について別紙のとおり提出します。

○中期的な計画の作成にあたっての意見

- ・ 重点化を進める上での特に優先度の高い政策について

都市内幹線道路網の個別の路線や区間について、それぞれの持つ機能を明確にするため、道路を交通処理、都市構造上の位置づけ、空間機能・環境保全機能の三つの視点から分類する必要がある。

その中で、交通処理の渋滞緩和も必要であるが、歩行者自転車交通量が比較的多い道路で通学路及び交通弱者支援道路の整備、又、都市構造上の位置づけとして各拠点へのアクセス路線、商業系用途地域内の道路、住居地区の活動中心となる道路の整備、又、空間機能環境保全機能として防災機能で延焼遮断機能を持ち災害避難路となる道路や消防活動困難地域を解消する道路整備、そして都市の美観を保全する道路整備も必要である。

- ・ 効率化を徹底的に進める上での重視すべきことについて

現況道路網（高速道路、国道、主要地方道、一般県道等）の確認、現況交通量及び現況混雑度の分析、都市計画道路整備状況を把握し、道路整備による経済的な整備効果の大きさを数値で表し、客観的に判断しなければいけない。

そのため道路整備に係る事業費及び道路の維持管理費の総和（総費用）に対して、走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益の社会的損失額の総和（総便益）の比率により効率化の判断を進めるべきである。

- ・ その他

本町は、町域のほぼ中央部において、主要幹線道路であり岐阜県西濃地域、岐阜地域・中濃地域の東西交通の大動脈である国道21号と名古屋都市圏と連絡する国道22号及び飛騨、北陸方面とを連絡する国道156号が交差しています。また、東部には、名神高速道路と直結した東海北陸自動車道が縦走しています。本町から国道21号が東海北陸自動車道へのアクセスルートとなっており、飛騨、北陸方面及び関東、関西方面への交通の要衝となっています。

本町は道路が、まちづくりの重要な位置づけとなっており効果的な道路の整備計画を願います。